

令和3年度 第1回潮来市総合教育会議議事録

1. 日時 令和3年10月25日（月）午前9時00分から午前10時30分

2. 場所 潮来市役所3階 第一会議室

3. 出席者

○出席委員

市長	原 浩道
教育長	横田 直樹
教育長職務代理者	小松崎 修平
教育委員	茂木 悦男
教育委員	飯田 三矢子
教育委員	塚本 健二郎

○事務局及び説明員

市長公室長	額賀 浩
企画政策課	
課長	草野 吉広
課長補佐	永山 由治
係長	石神 利恵
係長	塙 教行
主事	沼田 あゆみ
教育部長	塙 誠一
学校教育課	
課長	沼田 武男
学校教育指導室長	五喜田 満
課長補佐	大川 敏幸
学校給食センター長	小沼 政範
生涯学習課	
課長	村田 政子

○傍聴者 1名

4. 議事次第

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 主旨説明
- 4 協議事項

- (1) いじめ問題及び不登校の状況と防止対策について
- (2) 新型コロナウイルス感染症への対応等について
- (3) 学習用端末等の活用状況について
- (4) 学力の現状と学力向上の取り組みについて
- (5) 潮来小学校と津知小学校の統合について
- (6) その他

- 5 閉 会

5. 会議録（要点記述）

開会（午前9時00分）

○事務局

ただいまから、令和3年度第1回潮来市総合教育会議を開会いたします。はじめに、原市長からごあいさつをお願いいたします。

○市長

本日は大変お忙しい中、令和3年度第1回潮来市総合教育会議にご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

この総合教育会議は、本市の教育問題や重点的施策について、市と教育委員会が協議・調整をし、連携を深め、円滑な教育行政を推進していくことが目的でございます。

また、コロナ禍により教育行政の分野にも多大なる影響が出ております。今まで以上に多くの課題が山積しており、これらの課題に対応するためには、市と教育委員会の連携がますます重要になってまいります。

委員の皆様との共通認識のもと、忌憚のないご意見をいただきながら、本市の教育向上に努めてまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

○事務局

【総合教育会議主旨説明】

○事務局

議事進行につきましては、本会議運営要綱の規定により、原市長にお願いしたいと存じますので、よろしく申し上げます。

○議長

しばしの間、議長を務めさせていただきます。それでは議題に入ります。

第1号「いじめ問題及び不登校の状況と防止対策について」を教育委員会から説明願います。

○教育委員会

【「いじめ問題及び不登校の状況と防止対策について」を説明】

○議長

ただいま、教育委員会から説明のありました件について、委員からご意見・ご質問等ありますでしょうか。

○教育委員

SNSの誹謗中傷によるいじめは、表面化しづらく気づきにくいので注意深く対応してほしい。

○教育委員

いじめなどの問題が起きてしまった場合は、オープンにしてほしい。

学校・保護者・地域・教育委員会・関係機関が連携して対応し、担任一人の負担にならないよう全体で関わる体制を作ってもらいたい。

○教育委員

児童生徒・保護者と教員との関わりが難しくなっている。学校や教員だと抵抗がある児童生徒・保護者もソーシャルワーカーや教育支援センターのスタッフだと関わりやすい場合もあるので、連携していじめや不登校問題に取り組んでほしい。

○教育委員

いじめや不登校問題は、小・中学校が連携して小学校の早期から解決に向けて取り組んでほしい。兄弟で不登校になる例もあるので、小中学校が一緒に家庭訪問をするなど連携して、みんなが関わりをもって解決へ導いてほしい。

○教育委員

ハイパーQ Uの活用について、いじめの認知はどのように判断するのか。

児童生徒本人や保護者から訴えがあった場合はどうしているのか。

○教育委員会

ハイパーＱＵは教員が児童・生徒一人ひとりの心の状態を詳細に把握し、適切な対応をとるためのもので、教員が子どもたちの苦痛を細かいところまで汲み取っているかが重要となっている。教員がいじめを認知したときは、担任が様子を見るか、複数の教員で対応するか、関係機関と連携して長期的にみていくか、場合によっては重大案件として市に報告するか等の対応にあっている。本人や保護者が直接苦痛を訴えた場合は、重大案件として、徹底的に原因究明を行っている。

○議長

ありがとうございました。続きまして第２号「新型コロナウイルス感染症への対応等について」を教育委員会から説明願います。

○教育委員会

【「新型コロナウイルス感染症への対応等について」を説明】

○議長

ただいま、教育委員会から説明のありました件について、委員からご意見・ご質問等ありますでしょうか。

○教育委員

学校を訪問をすると、検温のモニターを設置しているところと、設置していないところがあり、学校ごとに対策の仕方が違うようなので、全部の学校で同じ感染症対策がとれるように市の対応をお願いしたい。

○教育委員会

各学校の内容を確認し、全部の学校で同じ対策がとれるよう対応していきたい。来校者用の検温器については、設置が済んでいると思うが、児童生徒用はまだ設置していない。今のところ学校からの要望はないが、校長に確認して対応していく。

○教育長

児童生徒は、登校前に家庭で検温し、保健室では健康観察を行い感染症対策に努めている。外部からの来校者も検温してもらっており、できる限りの対策は実施している。今後も学校との連携を密にしてコロナ対策をしっかりと行っていく。

○教育委員

ワクチン接種をするかどうかで、いじめに発展する可能性があるが、学校での対応はどうなっているか。

○教育委員会

ワクチン接種については、話題にすることにより、いじめ問題につながる可能性があるため、学校では話題にしないように対応している。接種は各家庭での判断に任せている。

○教育委員

消毒のスタッフが配置されている学校が一部あるが、教員が消毒作業をすることは業務量が増えて大変なので、消毒ボランティアを各学校に配置してはどうか。

○教育委員会

感染状況をみながら、必要ときには、消毒ボランティア等を増員することを検討していきたい。

○議長

ありがとうございました。続きまして第3号「学習用端末等の活用状況について」を教育委員会から説明願います。

○教育委員会

【「学習用端末等の活用状況について」を説明】

○議長

ただいま、教育委員会から説明のありました件について、委員からご意見・ご質問等ありますでしょうか。

○教育委員

教員がタブレットの使い方を十分理解し活用できるように、また教員によって技量に差が出ないように研修を行ってほしい。

また、タブレット操作習得に差が出るなどして、子どもたちの間でいじめが発生しないよう見守ってほしい。

○教育委員会

市が実施した教員向けのタブレット研修には、多くの参加があった。今後も研修を充実させ支援していきたい。

○教育委員

学校の指導もあり、子どもたちはタブレットを使いこなし、活用は順調に進んでいると考える。

タブレットやスマホの普及により、使用時間が増えて視力の低下が懸念される。眼を休める対策や子どもたちへの注意喚起などを行ってほしい。

○教育委員会

文部科学省の使い方のガイドラインでは、30分に1度は眼を休めるようにとされているが、まだ効果的な対策は打ち出せていないので、今後指導に活かすように取り組んでいきたい。

○議長

ありがとうございました。続きまして第4号「学力の現状と学力向上の取り組みについて」を教育委員会から説明願います。

○教育委員会

【「学力の現状と学力向上の取り組みについて」を説明】

○議長

ただいま、教育委員会から説明のありました件について、委員からご意見・ご質問等ありますでしょうか。

○教育委員

学力調査は、調査後どうするのが重要なので、分析・報告で終わりではなく、分析した結果を授業に反映し、指導法を改善してもらいたい。

例えば、学習指導に定評がある教員の指導法を校内や市内で共有すれば全体のレベルアップにつながるので、そのような仕組みを作ってほしい。

また、学校評価は、成績だけでなく、学校が楽しいかどうかという視点での評価も大切にしてほしい。

○教育委員

学力調査後の分析の活用について、教員一人一人に浸透させ、求められる学力を常に意識して子どもたちの指導にあたるよう取り組んでほしい。

○教育委員会

分析結果を活用し、教員の指導力が向上するよう研修を実施する。各学校訪問の際はしっかりと伝え指導していく。

○市長

学力調査の各学校の結果は、把握・共有しているのか。

分析結果は、学校に学力の差があるときなど、その後の対応に反映しているのか。

○教育委員会

教育委員会で情報は共有している。

○教育委員

学力調査はもともと、点数が低い学校が、どうすれば点数を上げることができるか検討するためのもので、必要な人やものを整えて学力の向上を図ることを目的としている。

○議長

ありがとうございました。続きまして第5号「潮来小学校と津知小学校の統合について」を教育委員会から説明願います。

○教育委員会

【「潮来小学校と津知小学校の統合について」を説明】

○議長

ただいま、教育委員会から説明のありました件について、委員からご意見・ご質問等ありますでしょうか。

○教育委員

アンケートの対象者は。

○教育委員会

両学校の1年生から5年生までの保護者が対象。

○教育長

学校統合はコロナ禍でなかなか思うように進めていくのは難しい状況だが、説明会を行い保護者の意見を聞き、理解を得ながら進めていきたい。

○市長

統合はR4年の予定だったが、コロナ禍で思うように協議を進めることが出来ず、遅れてしまっている。

学校統合は、コスト削減が市としての目的ではなく、教育環境の充実と教育の質を保つために実施するものである。

牛堀中学校は他の中学校と比較すると、生徒数が少ないため教員の配置も少なく、支障が出てきているので、早く統合した方がよいのではないかと考える。

また、災害時の避難場所や給食センターの設置についても複合的に考える必要がある。

○議長

ありがとうございました。続きまして第6号「その他、教職員の働き方改革について」を教育委員会から説明願います。

○教育委員会

【「その他、教職員の働き方改革について」を説明】

○議長

ただいま、教育委員会から説明のありました件について、委員からご意見・ご質問等ありますでしょうか。

○教育委員

時間外勤務の状況はどのように調べているのか。

○教育委員会

毎月、教育委員会に教頭などの管理職から報告を受けている。

○教育委員会

学校の中で、教員同士が勤務を見直して効率化できるか話し合いをするのもいいのではないか。

○教育委員会

働き方改革に向けて、働き方改革推進委員会という組織があり、様々な立場の教員で構成されており、各学校で話し合いを行っている。市内の教員たちもどうすれば時間外を減らせるか勤務の見直しを検討していると校長会から報告があった。

○議長

その他、委員からご意見・ご質問等ありますでしょうか。

○教育委員

市配布のランドセルについて、保護者や祖父母からどのような意見があるか。

○教育委員会

ランドセル配布は子育て支援課が実施している事業で、現在小3の入学時から始まっているが、不要という人はこれまでなく、今のところ全員受け取っている。

市配布のランドセルを必ず使う必要はなく、家族や祖父母が用意したランドセルは自由に使ってよい。

ランドセルの幅を大きくするなど改善しているので、使いやすくなっている。

○教育委員

ランドセルの色は、男の子が黒、女の子が赤と決めつけるのは時代にそぐわないのではないかと。また、軽量化した丈夫なリュックのようなものを検討する余地もある。

○市長

ランドセル配布のいきさつは格差をなくすことが目的だった。

色については、当初は藍色の一色にする予定だったが、アンケートで男の子が藍色、女の子が赤色がよいという意見が圧倒的に多かったのでそう決めた。

今後も市で決めるのではなく、学校や保護者の意見を聞いて色の選択などをしていきたい。

○教育委員

給食の量について、少ないという声があったが。

○教育委員会

給食についてアンケートを実施したところ、給食の量は、「ちょうどいい」が8割、味については、「ちょうどいい」が8割という結果だった。

量が少ないという意見は1割程度だった。

○市長

給食については、栄養だけでなく、色合いや見た目にも配慮し、地産地消でおいしい給食を提供していきたい。

給食無料化をいずれしていきたいが無料化しても量や味が落ちることがないようにしていきたい。

○議長

そのほか、委員からご意見・ご質問等ありますでしょうか。

ないようですので、以上で本日予定をしておりました、議事につきましてはすべて終了となります。これにて、議長の職を解かせていただきます。ありがとうございました。

○事務局

以上をもちまして令和3年度第1回潮来市総合教育会議を閉会します。

閉 会（午前10時30分）